

## リアルタイムOS M3T-MR308/4 ご使用上のお願い

M32C/80, M16C/80およびM16C/70シリーズ用リアルタイムOS M3T-MR308K/4およびM3T-MR308S/4の使用上の注意事項を連絡します。

- iunl\_cpuサービスコールに関する注意事項

### 1. 該当製品

M3T-MR308K/4 V.4.00 Release 00 および V.4.00 Release 01  
M3T-MR308S/4 V.4.00 Release 00 および V.4.00 Release 01

### 2. 内容

iunl\_cpuサービスコールを発行した場合、FLGレジスタのIPL値が不定になる場合があります。その結果、本来マスクされるべき割り込みが発生することがあります。

### 3. 発生条件

iloc\_cpuサービスコールを発行せず、コンテキストをCPUロック解除状態にしたままiunl\_cpuサービスコールを発行した場合に発生します。

### 4. 回避策

CPUロック解除状態でiunl\_cpuサービスコールを発行しないでください。  
以下のようにsns\_locサービスコールを使用してCPUロック状態にあると判定してから、iunl\_cpuサービスコールを発行してください。

例 :

```
-----  
void handler(void)  
{  
    .....  
    if( sns_loc() ){ /* CPUロック状態かどうかを判定 */
```

```
    iunl_cpu();  
    }  
    .....  
}
```

---

## 5. 恒久対策

次期バージョンアップで改修予定です。

---

### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.